

2025年(令和7年)3月10日

保護者のみなさま

藤沢市立大清水中学校  
校長 山下 尚子

## 2024年(令和6年)度 学校評価の結果について

昨年末に実施しました学校評価について集計が整い、学校運営協議会での報告が終了しましたのでお知らせいたします。ご協力をいただきありがとうございました。

本校では、学校の様々な教育活動について、学校側の評価だけでなく、保護者や地域の方々からのご意見をいただくことを基本姿勢としております。今回の結果やご意見につきましては、今後各種会議の資料とするとともに、今後の学校運営に活かしてまいります。

### 1. 評価結果について

- 1 「よくあてはまる」と2 「だいたいあてはまる」の割合の合計について、前年比「5%以上上昇の場合は増加、5%以上下降の場合は減少、5%以内は変化なし」とします。

#### 生徒の集計結果より資料1-1

回収率83.2% 全校生徒329名 <回収1年:81名 2年:96名 3年:97名>

質問24項目のうち前年比増が15項目、減少が1項目、変化なしが8項目という結果でした。

#### 保護者の集計結果より資料1-2

回収率34.5% 全世帯数310世帯 <回収1年33世帯 2年37世帯 3年37世帯>

※兄弟がいる場合、上の子の学年で回答

質問26項目のうち前年度比増加が14項目、減少が3項目、変化なしが9項目という結果でした。

#### I 「学校教育目標や理念」

No.1~3は、学校教育目標や教育理念を理解し、学校に登校できているか、という設問ですが、前向きな気持ちで登校できている生徒やその保護者が7割となる結果となりました。また、8割を超える生徒や保護者の皆様から自治活動についても肯定的な回答をいただいております。多感で、自我を形成する難しい時期でもあるなか、誰もが安心して学べる学校づくりにより一層努めてまいります。

#### II 「教職員の姿」 III 「教科指導」

No.4~9は、教職員の姿、教科指導の部分となっています。わかりやすい教科学習、生徒に寄り添った指導・支援を心がけております。昨年度より数値が大きく伸びており、教職員が日頃から努めている姿が伝わっているかと思うと、励みになります。ただ、この結果に驕ることなく、さらに今後、子どもたちの成長を目指し、より良い授業や支援のあり方を考えてまいります。また、生徒支援については、教職員で随時情報共有し、引き続き生徒に寄り添った指導・支援を行ってまいります。

#### IV 「道徳・特活・総合的な学習の時間」

No.10 「いのちの大切さ・人の生き方・豊かな心のあり方」についての指導となっています。昨年度は肯定的な回答が生徒・職員の調査では8割を超えている一方、保護者の方からは昨年同様5割に満たない数値となっており、課題を感じておりましたが、今年度、保護者は7割を超え、生徒も8割半ばとなっています。どんな場面でも豊かな心を育むことができるよう、職員一同努めております。生徒の考えや意見を保護者の方にも発信できるような機会をもち、「ともに学び ともに育つ」学校であるよう、努めてまいります。

#### V 「進路指導」

No.12 は進路や職業学習についてです。進路については、中学校の3年間を通して考えられるよう、1年で自分の良さを知り、2年生でキャリア教育、3年で具体的な卒業後の進路、進学指導を行っています。「もっと知りたい」という思いからの回答と思われます。今後、地域やご家庭と協力しながら、生徒の進路について、より充実した指導ができるよう努めます。

また、発信方法についても検討してまいります。

#### VI 「行事・課外活動」

No.13～15 は行事や生徒会活動についての項目です。生徒の肯定的な回答は8割を超え、どの行事にも前向きに取り組んでいることができている傾向です。また、今年度の体育祭・清流祭は全ての保護者の方（清流祭ステージ発表は出演生徒の保護者のみ）に、参観いただくことができました。実際にご覧いただいたことで、お子様の成長を感じられたことと思います。

生徒会活動については、日頃の活動をお知らせする場を考えていきたいと思っております。

行事については、コロナ禍を経て、伝統的な部分を残してほしいというご意見の一方、変えてほしいというご意見があります。生徒の声を聞きながら、子どもたちの成長を願って検討してまいります。

No.16 は部活動についての項目です。今後、中学校の部活動については、大きな過渡期となります。学校の設置者である藤沢市も部活動のあり方について検討し、新たなガイドラインを作成しています。いただいたご意見を参考に、地域の方々と協力しながら、子どもたちのために学校ができることを行ってまいります。

#### VII 「生徒指導」

No.17, 18, 21 は生徒指導に関する質問です。多くの生徒が生活している上で、摩擦は起こります。それをどのように解決し乗り越えていくか、双方の話を聞き、対話ができるよう指導しています。時間がかかることもありますが、丁寧に対応できるよう、努めてまいりました。事故・事件が起きたときにすぐに対応している、という部分は昨年度より大きく上昇していますが、半数を超えたところです。生徒の悩みや課題は個々に異なりますが、困ったときには話を聞き、一緒に解決に向かうようこれからも努めてまいります。今後も生徒指導・支援では、生徒の成長を目指し、生徒に寄り添った指導を行ってまいります。

## VIII 「その他」

No. 23 は、学校施設に関する質問です。こちらは肯定的な回答が最も低い設問となりました。本校も創立から40年以上が過ぎ、創立当初からの校舎を現在も使用しています。教職員で修理できるものは随時しておりますが、教職員には難しい修理や破損、劣化等も出てきています。今後も教育委員会とも連携して、安全安心な教育環境となるようにしてまいります。

不具合のある様々な設備に関しては、藤沢市教育委員会に依頼をしています。来年度以降、詳細をお知らせできると思いますが、工事もいくつか入る予定です。

### 2. ①生徒の主な自由記述【良い点】

- みんなの仲がよいところ (多数)
- あいさつをする (多数)
- 行事が楽しい
- 行事に一生懸命取り組んでいる
- 各委員会がみんなのために頑張っている
- 先生が優しく丁寧に教えてくれる
- 授業が分かりやすい
- 先輩と後輩でも仲が良い
- 花壇の花がきれい
- 他学年との関わる機会が多い
- 平和でアットホームなところ
- 他校に比べ少し自由なところがあるが、その分服装など、責任は負うという理念が良い
- 学年問わず仲が良く、みんな笑顔いっぱいとても良いと思う。校内もきれいで、みんながしっかりと掃除していることがわかり、とても快適に授業を受けることができるのが良いと思う。
- 分からないところは手を挙げたらすぐに来てくれるし、隣の人、周りの人と話す時間もあって、班の中で意見などの共有する時間を取ってくれるところ
- 「分からないことが恥ずかしいこと」という空気感がなく、気軽に質問できる
- みんな元気で明るい
- 先生が優しく声をかけやすい
- 服装が自由
- 分からないところがあったら皆が助けてくれるところ
- 過ごしやすい雰囲気、学年を越えて交流できる
- AとBでわかれて勉強できるところ
- 先生と生徒の仲が良い
- 先生方の面倒見が良く、サポートしてくれる
- 三校交流や地域の人との関わりを持つ機会があり良い
- 先生が、生徒が悪いことをしたらちゃんと注意している
- 「芋レク」これにより学年の絆がより深まっている

### ②生徒の主な自由記述【課題・提案】

- 各教室に燃えるゴミのゴミ箱を置く
- 全校(3学年)で交流する (多数)
- 先生たちがもっと笑顔で生徒に接する
- 生徒会本部が何をやっているのか見えるようになると良い
- 寒さへの対策をしてほしい
- 体育館を大きく、きれいにする
- 人目を気にせず意見箱に意見を投じやすいよう、教室以外の人目につかないところにも設置する。
- 教育理念をより多くの人に知ってもらう
- 自由と言ってもどこまでの範囲なのかを皆で確認する
- 「提出物を早く出すように」と言われるが、配布される時期など考えたほうが良いと思う。
- もう少し授業のスピードをあげて、1、2月は受験のための勉強や、頻出問題の解き方を教えてほしい。
- 人のことを笑う、馬鹿にすることをなくす。そんな人たちはもっと自覚をもったほうが良いと思う。
- クラスの交流会としてクラスレクを取り入れる
- 挨拶を増やす
- 授業のメリハリがあると良い
- 生徒の意見に耳を傾ける
- 古いものを新しくする
- 理科室を新しくする

- 学年集会や全校集会のときに椅子を用意すること
- 発言に気をつける人が増えると良い
- 知らなくてルールを破ってしまったというのは良くないので、何かあってからルールや決まり事を確認するのではなく、定期的に確認すればもっと決まりを守る人が増えると思います。

### 3. ①保護者の主な自由記述【評価できる点】

<保護者>

- 工夫して行事を行って下さり、とても感謝しています。学校行事は今しか経験できない事なのでなるべく行って欲しいと思っていました。
- 不登校気味ですが、ご理解いただき、たまに登校したときに丁寧に接していただき感謝しています。
- 保護者とのコミュニケーションを大切にしていると思う
- 教職員と生徒と一緒に部活に取り組んでいる
- 先生と生徒との距離感の良さは話を聞いていて感じる、特定の先生のみならず、先生方との良い距離感で向き合っているのを感じる
- 担任の先生が本当にとっても良い先生で、来年も担任になってほしいぐらいです。

### ②保護者の主な自由記述【改善提案】

- 委員会や係など、手を挙げにくい子にも機会をあげてもらいたい。また、提示服の良い活用法を考えていただきたい。不登校の子も少なからずいると思いますので、いつでも来やすい学校だといいなあとと思います。今後ともよろしくお願いします。
- 子供の可能性は無限大、その可能性に蓋を閉めている親もいます。また蓋を閉めていることにすら気付いていない親もいます。子供の意見、主体性を是非尊重したいものだと感じます。自分たちの殻を破って進む勇気を持てる子になってほしいと願います。得意とすることを皆の前で披露する、語るそういう機会があれば是非見たいです。また私学の中学などは、道徳やグローバル特別授業などを設け、保護者による講演で学ぶ機会があります。異文化理解、〇〇を知るなどとして将来の視野をより広げ多角的な考えを持てるような機会をもってほしい。
- 体育祭が物足りなさ過ぎました。リレーや部活対抗リレーなど、コロナ前にやっていた競技が無くなってしまったのが残念です。来年はコロナ前の体育祭に戻して下さいね。
- 体育祭での生徒参加の方法について、支援級の生徒も含めた全員が参加できるような工夫、裸足で行っている「大清水体操」の在り方、また、猛暑の中でのプールサイドでの見学など、人権の視点で考えてほしい。
- 学校の理念である「自由と責任」は他校と大きく違う所ではあるので、それをもう少し生徒たちが考えられるといいと思います。一番身近な事が服装だと思うのですが、体操服があまりにも楽過ぎかと思うので、あえて、体操服以外で登校する日を作ったりするのも楽しく、多様性を認める一歩ではないかと考えたりします。学校の内・外問わず、手伝いが必要であれば、地域等にも頼んでみて欲しいと思います。これから、生徒数が更に減るようなら事があれば、例えば清掃で手が足りなくなる所も出てくるとと思いますが、その程度なら地域の方でお手伝いして下さいる人もいると思うので。

#### 4. 保護者の方からの自由記述について

お忙しいところ、子どもたちの成長を願ってのご意見をいただき、ありがとうございます。いただいたご意見を全て校内で共有してまいります。その中でも【改善提案】にいただいた事柄に関しては、真摯に受け止め、学校全体で検討してまいります。

#### 5. 学校運営協議会（2月26日実施）からのご意見

##### <全般>

- ・先生が生徒に適切に関わっていて、関連する項目の数値が高くなっている。
- ・肯定的な回答の数値が低い設問は、「わからない」と答えている方が半数近くになっているものが多い。設問に、状況が「ある・なし」で答える質問にしたうえで、その対応について尋ねてみてはどうか。
- ・「三校交流や地域の方との関わりを持つ機会があり良い」という生徒の意見に、この地域の文化が根付いているように感じる。
- ・「意見箱を人目につかないようなところにも設置する」という生徒の意見は、何か困りごとがあるのではないかと。権利擁護の点からも、何を困っているのか知らせられるようになるとよい。

##### <進路>

- ・3年生になると進路のことが心配だ。先生ごとに格差はないか。  
→指導の核となる部分は同じだが、教諭の個性もあるのは事実。進路指導委員会を設け、初めて担当する職員でも困らないように情報共有など足並みをそろえている。
- ・学校見学や前年度の3年生保護者との情報交換は、（親として）進路選択を考える有効な手段となった。
- ・保護者も含め、実際に足を運んで見学してみるとよく分かる。距離、時間、安全面など。
- ・塾と学校の進路選択の方向性が逆になることがあり、子どもも保護者も迷いが生じる。

##### <施設>

- ・学校の施設・設備の修理は、地域による協力で解決できることもあるのでは。困ったことがあれば、知らせてほしい。
- ・体育館の寒さのなかでの講演会では、防寒着を生徒は着ておらず、寒そうであった。何か対応策をとれるのではないかと。

## 【まとめ】

今年度は、早い時期からの猛暑、南海トラフ地震臨時情報等、生徒の安心・安全のため、どのような対応が必要かを考えながらの取り組んでまいりました。これまでの取り組みと、社会情勢を見極め、今必要な取り組みが何かを考えながら、これからも生徒が充実した中学校生活を送れるように柔軟に対応してまいります。

学習指導については、学習指導要領の目指す「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、本校では「ICTの効果的な活用」、生徒同士の学び合い、学習内容の基礎・基本の定着など、生徒一人ひとりの確かな学力の育成を目指して教育活動を行ってまいりました。今後も引き続き研究を進めながら取り組んでまいります。

生徒指導支援体制については、生徒に寄り添った指導支援を全職員で取り組んでおります。別室での学習支援やオンライン授業などの環境を整備し、個々に合わせた学習支援体制の充実に向けて取り組んでおり、今年度は登校に不安を抱える生徒を対象に、「校内支援センター」を設立、試行しています。今後、改善を重ねながら、全ての生徒にとっての支援の場としていきたいと考えております。なお、オンライン授業での出席の扱いについては、保護者と確認し連携が必要となります。「校内支援センター」の利用につきましても、まずは学校（担任）までご相談ください。

そして、学校評価における自由記述では、温かい励ましの言葉をありがとうございました。日々職員が努めていることを認めていただき、感謝申し上げます。

一方、ご指摘を受けた点やご要望のひとつひとつを真摯に受け止めております。これからも、教員の資質向上に努め、生徒が安心・安全に学校生活を送れるよう、教育活動を行ってまいります。保護者の方々と一緒に、子どもたちの成長を支えていきたいと思っております。

今回の結果を踏まえて、今後も生徒が充実した学校生活を送れ、保護者・地域の皆様から信頼される学校を目指して、授業をはじめ様々な取組の改善を行い、より良い学校づくりに努めてまいります。